城陽おひさまプロジェクト news

第 63 号 2025 年 5 月 2 日　　NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190　http://jyoyonokai.sakura.ne.jp

2025市民発電・城陽　　記念講演と総会のお知らせ　5月24日、ぱれっとにて

講演は「気候危機と災害、あなたの備えは」

防災士の広瀬さんが講師

すぐに役立つ防災グッズ プレゼント

記念講演後、総会を開催

気候変動に関するパリ協定は採択されましたが温暖化の進行はとどまるところを知りません。世界の大国がパリ協定離脱を表明するなど“地球沸騰“激化の方向へ。そして干ばつや大水害等の災害も頻発しています。ロサンジェルスの大規模山林火災も気候変動が関係しているとの研究報告もあります。昨年の能登地震、３月のミャンマーの大地震など災害は私たちの身近に起こっています。あなたの備えは？ぜひ、お越し下さい。

―― **記念講演** ――　　城陽市後援

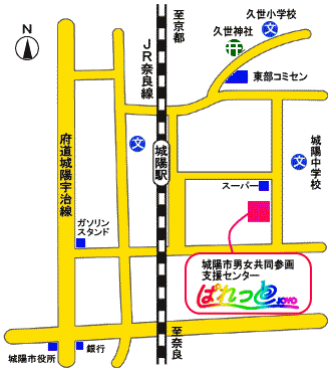
タイトル　気候危機と災害、あなたの備えは？

講師　　広瀬　和代さん（防災士・気候ネットワーク）

日時　　５月２４日（土）　１時３０分から３時

場所　　城陽市男女共同参画支援センター

ぱれっと　ＪＯＹＯ



＊先着２５名・入場無料・事前申込不用

＊防災グッズ差し上げます。停電時に点灯する充電式ＬＥＤ電球や簡易トイレなどの展示も行います。

２０２５年度総会を開催

記念講演終了後、同じ会場で市民発電・城陽の２０２５年度総会を開催します。今年度の活動を決める大切な会議です。ぜひ、ご参加下さい。

台湾で５月に全原発停止へ　実現すればアジア初！

第３原子力発電所２号機が１７日に運転終了

台湾で稼働している最後の原子力発電所が、今年５月に運転を停止の予定です。これにより、台湾はアジアでは初めてとなる「脱原発」を達成することになります。

台湾には第１・第２・第３原子力発電所がありましたが、２０１６年に脱原発政策を掲げ、8年ぶりとなる政権交代を果たした蔡英文政権(民進党)は、２５年までに「非核家園(原子力発電のないふるさと)」の実現を訴えていました。また、第４原子力発電所の建設も計画されていましたが２０２１年の住民投票で建設反対が多数となり、新たな原発建設が阻止されました。１７年に日本の国会に当たる立法院で、電気事業法改正案を可決させ、運転延長や新規稼働を認めない方向性を定めています。以降、４０年の稼働期間を過ぎた原発を順次閉鎖しており、今年５月に、最後となる馬鞍山(第三)原子力発電所２号機の運転が終了します。

脱原発化は多くの国民・住民の歓迎するところですが、中国との緊張が高まっている中では、エネルギー供給に懸念の声も出ています。台湾のエネルギーとなる天然ガスや石炭の備蓄は1～2カ月程度と言われており、台湾の電力供給は脱原発によって相当脆弱になるとの見方が出ています。

平和でこそ安全・安心な暮らしができると言えるのではないでしょうか。

台湾の原発					
発電所	原子炉	出力	商業運転開始	運転終了	備考
第一	１号	63.6万ｋＷｈ	1978年12月10日	2018年12月6日	
（新北市）	２号	63.6万ｋＷｈ	1979年7月15日	2019年7月16日	
第二	１号	98.5万ｋＷｈ	1981年12月28日	2021年12月27日	
（新北市）	２号	98.5万ｋＷｈ	1983年3月16日	2023年3月14日	
第三	１号	95.1万ｋＷｈ	1984年7月27日	2024年7月27日	
（屏東県）	２号	95.1万ｋＷｈ	1985年5月18日	2025年5月17日	予定
第四	１号	135.0万ｋＷｈ			2015年建設中止
（新北市）	２号	135.0万ｋＷｈ			2015年建設中止
ウィキペディア他より作成					
新北市は台北市の北、屏東県は高雄市の南に位置しています					

１００年に一度が毎年に

日本の気候変動に関する報告書「気候変動２０２５」を公表

３月２６日に文部科学省と気象庁が日本の気候変動について、最新の観測結果や科学的知見をとり入れた『日本の気候変動 2025 −大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書−』を公表しました。この「報告書」は、気候変動適応法に基づいて環境省が概ね５年ごとに作成する『気候変動影響評価報告書』へ科学的知見を提供するなど、気候変動対策の根拠となることを目的に作成されたものです。

報告書では、温暖化対策の国際的枠組みである「パリ協定」の「２度目標」が達成され、２１世紀末までの年平均気温の上昇を２０世紀末から約１・４度にとどめた場合と、追加策を取らず約４・５度にまで上がってしまう場合に分け、日本の気候を予測しています。もし、温室効果ガス削減などの追加対策が取られない場合、工業化（産業革命）以前の気候では１００年に１回しか起き

なかった極端な高温が２１世紀末には約９９回とほぼ毎年起き、大雨も約５・３回と大幅に増えると警告しています。他にも多くの予測がされています、ぜひ「日本の気候変動２０２５」で検索してみてください。

要素		非温暖化 （工業化以前に相当）	20 世紀末 （1981～2010 年）	21 世紀末 2°Ｃ上昇	21 世紀末 4°Ｃ上昇
気温	100 年に一回の 極端な高温の頻度	一回 （基準）	10 回	67 回	**99 回**
	100 年に一回の 極端な高温の強度	（基準）	＋1.1°Ｃ	+2.9°Ｃ	+5.9°Ｃ
降水量	100 年に一回の 極端な降水の頻度	一回 （基準）	1.5 回	2.8 回	5.3 回
	100 年に一回の 極端な降水の強度	（基準）	＋6 ％	＋17 ％	＋32%

※ 観測データに基づいて推定した 100 年に一回等の極端な降水（日降水量）の情報は、気象庁ｈｐ
出典：文部科学省及び気象庁「日本の気候変動 2025 － 大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書 －」

初期費用０円で　太陽光パネルを設置しませんか？

京都府・京都市では 2050 年までに C02 排出量正味ゼロの実現を目指し、再生可能エネルギーである太陽光発電設備の普及拡大を図る施策を展開しています。その一つに導入コストの高いイメージのある太陽光発電設備ですが、初期費用０円で太陽光発電設備を導入できる「０円ソーラー」という新たなビジネスモデルがあります。　幾つか条件はあるのですが条件を満たした場合、０円でソーラー設備を設置することができるプランです。提供している事業者（０円ソーラー事業者）と、太陽光発電設備の導入を検討している皆様とのマッチングを促進するオンラインポータルサイト＝京都０円ソーラープラットフォームがありますので、一度覗いてみて下さい。昨年度は京都府・京都市で問い合わせが約１００件あり、２５軒の家にパネルが設置されています。

－e-mail アドレスをお持ちの方へ－

現在、おひさまニュースは会員の方すべてに紙ベースでお渡ししています。同時にホームページにアップして会員外の方も見ることが出来るようにしています。紙のニュースでは印刷の関係で写真は白黒になりますが、ホームページ上のニュースはカラーで掲載しています。

会員の方も自由にホームページは見ることが出来ますが、ニュース発行時に e-mail アドレスにニュースを添付してお送りすることにより、発行と同時に見ることが出来るようになり、速報性が増し、カラーの紙面を見て頂けるようになります。ご希望の方は副理事長・杉浦のアドレス（ksugi04@yahoo.co.jp）にご連絡下さい。ご連絡頂いた以後の「おひさまニュース」は e-mail に添付ファイルとしてお届けします。

＊＊

本会のＱＲコードです。簡単にホームページを閲覧することができます。

NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会
連絡先 0774-55-4190　e-mail bnkmf858@kcn.jp

あなたの屋根におひさま発電を

！初期費用ゼロ円！燃料費ゼロ！温暖化効果ガス排出ゼ！

エネルギーの地産・地消、地球と地域に、家計にやさしいソーラーパネルを

個人宅おひさま発電ゼロ円システム２０２５

脱原発、温暖化防止のため、再生可能（自然）エネルギーの普及に貢献したいけれど、自宅に太陽光発電パネルを設置する初期費用の負担が大きすぎると考えておられた方々にはうれしい仕組みです。

＊2013 年の法人設立以降、12 基、累計出力 66.49kW に到達しました。

＜個人宅おひさま発電ゼロ円システムのイメージ＞

会員 ⇄（協力金拠出⇒／返　済　←）市民発電城陽の会 ⇄（⇒パネル設置／←5 年間定額支払）設置者家庭 ⇄（⇒電気代支払／←売電料金）電力会社

＜2025 年度の応募概要＞

①城陽市及び近隣市町村の会員に募集。
②屋根材が太陽光パネルの荷重に耐えられ、雨漏り等の恐れがない。
③電力会社との受電契約（予定含む）があり、系統連系ができる。
④5 年継続返済可能な方。

画像はｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｴｺｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ様より

・募集期間 2025 年 5 月 25 日~2025 年 11 月 30 日まで

支払期間は 5 年間です（税込）。

・**設置費目安**（一面設置例）
＊設置面数や瓦種類や足場、パネル機種により、変動します。

A　太陽光発電 3.48kW　年額 210,720 円
B　太陽光発電 4.35kW　年額 229,560 円
C　太陽光発電 6.96kW　年額 331,320 円
D　太陽光発電 3.48kW+蓄電池 5.6kWh 年額 563,280 円
E　太陽光発電 4.35kW+蓄電池 5.6kWh 年額 579,840 円
F　太陽光発電 6.96kW+蓄電池 5.6kWh 年額 662,640 円
G　蓄電池 5.6kWh 年額 397,560 円

＊太陽光発電と蓄電池を同時設置の場合（上記 D,E,F）は固定価格売電制度（FIT）適用の場合上限１４万円の城陽市補助金（予定）があります。FIT 適用なしの場合は上限２７万円が補助金（予定）になります。近隣自治体もほぼ同様、詳細は問合せ下さい。
＊その他、各会員の事情やニーズに合わせて、個別の相談に応じますのでご連絡ください。

・手続きの流れ　①見積申込　→　②設置場所調査　→　③見積説明　→　④契約
→　⑤事業計画認定　→　⑥パネル設置　→　⑦送電会社への連系契約　→⑧発電開始

＜NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会 問合せ先 0774-55-4190＞